

本市の防災・減災対策について問う

河野 哲雄 議員

質問 本市では、ハザードマップの見直しを図られています。市民の防災意識を高めるためにも、市民防災マニュアルの作成が必要と考えますが、当局の考えをお聞かせします。

答 国からの新たな浸水想定公表を受けた後、現在の洪水ハザードマップの

見直しを図り、市民の主体的な避難に役立つようなハザードマップの作成を考えております。各家庭で保管しやすい冊子型とし、防災に関する基礎知識も盛り込んだわかりやすい防災マニュアルを作成し、全世帯に配布できるよう検討してまいりたいと考えております。

質問 本市の避難所における非常用電源の設置状況についてお聞かせします。

答 避難所となる小学校は、照明やその他の機器の電源確保のために、持ち運びが可能な発電機を備蓄しております。中学校や公民館につきましては、非常用電源の確保を検討してまいりたいと考えております。

質問 トイレなどの確保のため、まだ非常用電源が設置されていない指定避難所には早急に設置する必要があります。

答 市内の歩道は、歩行者がほとんどいないが、法律では全国一律で規制されています。地方都市などの歩行者の少ない歩道を自転車道などに活用できるように、要望することはできないのか。

あると思いますが、当局の考えをお聞かせします。

答 避難所におけるトイレ浄化槽などの電源確保は、避難者の健康面や衛生面の観点から重要と考えております。現在、防災倉庫に備蓄されている非常用発電機のほか、簡易的な太陽光発電機の購入などを検討してまいりたいと考えております。

自転車、歩行者等の安全対策と

公園樹木の整備について

小林 信 議員

質問 自転車レーン・歩道の現状は、自転車は車両と位置付けられ、車道等を走行することになっています。自転車の安全対策として、各地で自転車レーンの整備が進められているが、本市の現状はどうか。

答 自転車レーンの整備は努力義務で、道路空間の制約などから、計画の策定まで至っていません。市道の延長が890・2kmで、市道における歩道の延長は56・7kmでございます。

整備計画はありません。

答 自転車レーンの整備は努力義務で、道路空間の制約などから、計画の策定まで至っていません。市道の延長が890・2kmで、市道における歩道の延長は56・7kmでございます。

地方からの要望は

質問 市内の歩道は、歩行者がほとんどいないが、法律では全国一律で規制されています。地方都市などの歩行者の少ない歩道を自転車道などに活用できるように、要望することはできないのか。

答 内部で検討していませんが、地方の歩道の実態

等を上部の機関に説明し、新しい対応策がとれるか、要望等も検討したいと思っております。

質問 地域公園のあり方について

答 内部で検討していませんが、地方の歩道の実態

等を上部の機関に説明し、新しい対応策がとれるか、要望等も検討したいと思っております。

良好な公園づくりを

答 街区公園が設置されてから大分年数がたっており、樹木の成長に伴い植栽密度が過密と感じられる公園もあります。

現在、公園のあり方、特に公園の樹木管理のあり方について、公園樹木の取扱方針を策定する方向で検討しております。公園の将来像を想定しながら、良好な公園づくりを進めてまいりたいと考えております。